

財務諸表等

平成25年度

(第4期事業年度)

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

地方独立行政法人さんむ医療センター

目 次

貸借対照表	P 1
損益計算書	P 3
キャッシュ・フロー計算書	P 4
利益の処分に関する書類	P 5
行政サービス実施コスト計算書	P 6
注記事項	P 7

- (1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(第84「特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額含む。)並びに減損損失の明細 P 10
- (2) たな卸資産の明細 P 11
- (3) 長期貸付金の明細 P 12
- (4) 長期借入金の明細 P 13
- (5) 引当金の明細 P 14
- (6) 資本金及び資本剰余金の明細 P 15
- (7) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細 P 16
- (8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細 P 17
- (9) 地方公共団体等からの財源措置の明細 P 18
- (10) 役員及び職員の給与の明細 P 19
- (11) 開示すべきセグメント情報 P 20
- (12) 医業費用及び一般管理費の明細 P 21
- (13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細 P 23

添付資料

決算報告書	(別冊)
事業報告書	(別冊)
監査報告書	(別紙)

財務諸表

平成25年度

(第4期事業年度)

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

地方独立行政法人さんむ医療センター

貸借対照表

(平成26年3月31日)

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額		
資産の部			
I 固定資産			
1.有形固定資産			
土地		66,159,000	
建物	1,866,375,000		
減価償却累計額	▲ 657,530,656	1,208,844,344	
構築物	18,730,000		
減価償却累計額	▲ 16,857,000	1,873,000	
工具器具備品	1,094,845,014		
減価償却累計額	▲ 661,166,538	433,678,476	
車両運搬具	466,202		
減価償却累計額	▲ 419,582	46,620	
有形固定資産合計		1,710,601,440	
2.無形固定資産			
ソフトウェア		2,937,043	
電話加入権		154,000	
無形固定資産合計		3,091,043	
3.投資その他の資産			
長期前払費用		203,300	
車両運搬具リサイクル料		77,980	
長期前払消費税		32,898,001	
長期貸付金		77,759,900	
破産更生債権等	3,047,879		
貸倒引当金	▲ 3,047,879	0	
差入保証金		370,100	
投資その他の資産合計		111,309,281	
固定資産合計			1,825,001,764
II 流動資産			
現金及び預金		1,554,523,641	
医業未収金	560,783,806		
貸倒引当金	▲ 6,020,888	554,762,918	
未収入金		17,873,800	
医薬品		22,327,676	
診療材料		27,914,219	
貯蔵品		23,500	
前払費用		737,973	
未収収益		32,053	
流動資産合計			2,178,195,780
資産合計			4,003,197,544

貸借対照表

(平成26年3月31日)

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額		
負債の部			
I 固定負債			
資産見返負債			
資産見返補助金等	143,607,799		
資産見返物品受贈額	40,060,934	183,668,733	
長期借入金		246,678,313	
引当金			
退職給付引当金	151,730,387		
PCB廃棄物処理費用引当金	1,124,000	152,854,387	
長期リース債務		146,562,456	
固定負債合計			729,763,889
II 流動負債			
一年以内返済予定長期借入金		83,232,966	
未払金		296,603,807	
短期リース債務		64,729,218	
未払消費税等		1,587,400	
預り金		41,937,417	
前受収益		34,500	
引当金			
賞与引当金	100,112,962	100,112,962	
流動負債合計			588,238,270
負債合計			1,318,002,159
純資産の部			
I 資本金			
設立団体出資金		1,403,259,000	
資本金合計			1,403,259,000
II 資本剰余金			
資本剰余金合計		114,135,341	114,135,341
III 利益剰余金			
目的積立金		857,582,540	
当期末処分利益		310,218,504	
(うち当期総利益)		310,218,504	
利益剰余金合計			1,167,801,044
純資産合計			2,685,195,385
負債純資産合計			4,003,197,544

損益計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	2,597,984,083	
外来収益	972,891,048	
その他医業収益	275,818,664	
保険等査定減	▲ 6,293,079	3,840,400,716
運営費負担金収益		307,039,000
補助金等収益		26,182,923
資産見返補助金等戻入		117,638,839
資産見返物品受贈額戻入		31,563,256
営業収益合計		4,322,824,734
営業費用		
医業費用		
給与費	2,176,735,068	
材料費	660,630,432	
減価償却費	302,258,782	
経費	631,656,168	
研究研修費	8,931,832	3,780,212,282
一般管理費		
給与費	199,478,513	
減価償却費	17,171,063	
経費	29,672,523	
研究研修費	164,883	246,486,982
営業費用合計		4,026,699,264
営業利益		296,125,470
営業外収益		
運営費負担金収益		13,872,000
補助金等収益		1,600,122
財務収益		
受取利息	2,734,748	2,734,748
その他営業外収益		23,335,823
営業外収益合計		41,542,693
営業外費用		
財務費用		
支払利息	315,442	
長期借入金利息	1,827,877	
その他財務費用	188,315	2,331,634
資産に係る控除対象外消費税償却額		7,326,831
託児所費用		17,210,222
雑支出		45,972
営業外費用合計		26,914,659
経常利益		310,753,504
臨時利益		
除売却資産見返負債戻入		439,750
物品受贈益		65,000
臨時利益合計		504,750
臨時損失		
固定資産除却損		439,750
その他臨時損失		600,000
臨時損失合計		1,039,750
当期純利益		310,218,504
当期総利益		310,218,504

キャッシュ・フロー計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	▲ 670,338,037
人件費支出	▲ 2,348,960,408
医業収入	3,851,116,326
運営費負担金収入	320,911,000
補助金等収入	28,803,045
その他	▲ 658,774,184
小計	<hr/> 522,757,742
利息の受取額	2,746,255
利息の支払額	▲ 2,143,319
業務活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> 523,360,678
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻しによる収入	2,350,000,000
定期預金への預入による支出	▲ 2,650,000,000
有形固定資産の取得による支出	▲ 83,034,650
無形固定資産の取得による支出	▲ 3,394,800
補助金等収入	62,931,834
その他	▲ 36,143,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> ▲ 359,641,316
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	50,000,000
長期借入金の返済による支出	▲ 72,942,072
リース債務の返済による支出	▲ 32,809,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	<hr/> ▲ 55,751,378
IV 資金増加額	107,967,984
V 資金期首残高	<hr/> 146,555,657
VI 資金期末残高	<hr/> <hr/> 254,523,641

利益の処分に関する書類

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額
I 当期末処分利益	310,218,504
当期総利益	310,218,504
II 積立金振替額	
目的積立金	857,582,540
	857,582,540
III 利益処分額	
積立金	1,167,801,044

行政サービス実施コスト計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

I 業務費用			
(1)損益計算書上の費用			
医業費用	3,780,212,282		
一般管理費	246,486,982		
営業外費用	26,914,659		
臨時損失	1,039,750	4,054,653,673	
(2)(控除)自己収入等			
医業収益	3,840,400,716		
受取利息	2,734,748		
貸借料収益	2,175,909		
託児所料	3,633,442		
受託収益	1,469,245		
駐車場使用料	4,260,000		
受取使用料	3,211,747		
受取手数料	6,262,661		
その他営業外収益	2,322,819		
臨時利益	65,000	3,866,536,287	
業務費用合計			188,117,386
(うち減価償却充当補助金相当額)			(112,502,436)
II 機会費用			
地方公共団体出資等の機会費用	8,980,858		8,980,858
III 行政サービス実施コスト			197,098,244

注記事項

I 重要な会計方針

当事業年度より、「地方独立行政法人会計基準」及び「地方独立行政法人会計基準注解」(平成24年・3月30日総務省告示第140号改訂)並びに「地方独立行政法人会計基準」及び「地方独立行政法人会計基準注解」に関するQ&A【公営企業型版】(平成24年4月改訂総務省自治財政局 日本公認会計士協会)を適用している。

1. 運営費負担金収益の計上基準

期間進行基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5	～	22年
構築物	3	～	4年
器械備品	1	～	14年
車両運搬具			2年

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額に基づき計上しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 医薬品 最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
- (2) 診療材料 同上
- (3) 貯蔵品 同上

7. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率10年利付国債の平成26年3月末における利回りを参考に0.64%で計算しております。

8. リースの会計処理

リース料総額が3百万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が3百万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

9. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。

なお、固定資産に係る控除対象外消費税等は長期前払消費税に計上し、5年間で均等償却しております。

II キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	1,554,523,641 円
(定期預金3ヶ月超)	▲ 1,300,000,000 円
資金期末残高	<u>254,523,641 円</u>

2. 重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	<u>163,006,850 円</u>
--------------------	----------------------

III 退職給付関係

1. 退職給付債務に関する事項

退職給付債務	
退職給付引当金	151,730,387 円
(注)当法人の退職給付債務算定方法は、簡便法によっております。	

2. 退職給付費用に関する事項

退職給付費用	
退職給付費用	51,570,516 円
(注)当法人の退職給付費用は簡便法による退職給付費用であります。	

IV オペレーティング・リース取引関係

解約不能の未経過リース料 一年以内	2,321,640 円
一年超	3,435,840 円
	<u>5,757,480 円</u>

V 減損関係

1. 固定資産のグルーピングの方法

病院全体が一体となって医療を担っていることから、病院全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

VI 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については公債及び政府保証債等に限定し、資金調達については、設立団体(山武市)からの借入によっております。

診療報酬債権にかかる回収リスクは、法人内部の要領等に沿ってリスク低減を図っております。

借入金等の用途は事業投資資金であり、設立団体(山武市)に承認された計画に沿って、資金調達をおこなっております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

区 分	貸借対照表上額	時 価	差 額
(1)現金及び預金	1,554,523,641 円	1,554,523,641 円	- 円
(2)医業未収金	560,783,806 円	560,783,806 円	- 円
(3)長期借入金	(246,678,313) 円	(248,481,298) 円	(1,802,985) 円
一年以内返済予定長期借入金	(83,232,966) 円	(83,232,966) 円	- 円
(4)未払金	(296,603,807) 円	(296,603,807) 円	- 円
(5)リース債務	(146,562,456) 円	(143,899,213) 円	(▲2,663,243) 円
一年以内返済予定リース債務	(64,729,218) 円	(64,729,218) 円	- 円

注1 負債に計上されているものについては、()で示しております。

注2 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(1)現金及び預金 (2)医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

(3)長期借入金 (5)リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(4)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

Ⅶ 重要な債務負担行為

当期に契約を締結し、翌期以降に支払が発生するものは、以下のとおりです。

契約内容	契約金額	翌事業年度以降の支払金額
医療情報システム賃貸借契約	156,870,000 円	156,870,000 円

Ⅷ 重要な後発事象

当年度の該当事項はありません。

財務諸表

(附属明細書)

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(第84「特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額含む。)並びに減損損失の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引期末残高	摘要	
					当期償却額		当期損益内	当期損益外				
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	1,836,220,000	30,155,000	-	1,866,375,000	657,530,656	208,338,584	-	-	-	1,208,844,344	
	構築物	18,730,000	-	-	18,730,000	16,857,000	87,750	-	-	-	1,873,000	
	工具器具備品	882,744,016	216,498,498	4,397,500	1,094,845,014	661,166,538	110,707,411	-	-	-	433,678,476	(注1)
	車両運搬具	466,202	-	-	466,202	419,582	-	-	-	-	46,620	
	計	2,738,160,218	246,653,498	4,397,500	2,980,416,216	1,335,973,776	319,133,745	-	-	-	1,644,442,440	
非償却資産	土地	66,159,000	-	-	66,159,000	-	-	-	-	-	66,159,000	
	計	66,159,000	-	-	66,159,000	-	-	-	-	-	66,159,000	
有形固定資産合計	土地	66,159,000	-	-	66,159,000	-	-	-	-	-	66,159,000	
	建物	1,836,220,000	30,155,000	-	1,866,375,000	657,530,656	208,338,584	-	-	-	1,208,844,344	
	構築物	18,730,000	-	-	18,730,000	16,857,000	87,750	-	-	-	1,873,000	
	工具器具備品	882,744,016	216,498,498	4,397,500	1,094,845,014	661,166,538	110,707,411	-	-	-	433,678,476	(注1)
	車両運搬具	466,202	-	-	466,202	419,582	-	-	-	-	46,620	
計	2,804,319,218	246,653,498	4,397,500	3,046,575,216	1,335,973,776	319,133,745	-	-	-	1,710,601,440		
無形固定資産	ソフトウェア	-	3,233,143	-	3,233,143	296,100	296,100	-	-	-	2,937,043	
	電話加入権	154,000	-	-	154,000	-	-	-	-	-	154,000	
	計	154,000	3,233,143	-	3,387,143	296,100	296,100	-	-	-	3,091,043	
投資その他の資産	車両運搬具リサイクル料	77,980	-	-	77,980	-	-	-	-	-	77,980	
	長期貸付金	42,880,000	35,979,900	1,100,000	77,759,900	-	-	-	-	-	77,759,900	
	長期前払費用	219,500	45,800	62,000	203,300	-	-	-	-	-	203,300	
	長期前払消費税	36,634,158	11,878,234	-	48,512,392	15,614,391	7,326,831	-	-	-	32,898,001	
	破産債権等	301,379	2,746,500	-	3,047,879	-	-	-	-	-	3,047,879	
	差入保証金	252,100	118,000	-	370,100	-	-	-	-	-	370,100	
	計	80,365,117	50,768,434	1,162,000	129,971,551	15,614,391	7,326,831	-	-	-	114,357,160	

(注1) 当期増加額のうち主なものは次のとおりです。

工具器具備品

リース資産 医療情報システム(149,106,850)

(2)たな卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・ 振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	20,469,784	289,561,899	-	286,658,394	1,045,613	22,327,676	(注1)
診療材料	30,615,746	375,820,336	-	377,557,279	964,584	27,914,219	(注1)
貯蔵品	770	890,681	-	867,951	-	23,500	
計	51,086,300	666,272,916	-	665,083,624	2,010,197	50,265,395	

(注1) 当期減少額のうちその他には、期限切れによる廃棄もしくは滅失した資産を記載しております。

(3)長期貸付金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加	当期減少		期末残高	摘 要
			回収額	償却額		
看護師奨学金長期貸付金	42,080,000	34,940,000	-	1,100,000	75,920,000	看護学生に対する奨学金 償却額は返還免除による額
認定看護師奨学金	800,000	1,039,900	-	-	1,839,900	認定看護師に対する奨学金
計	42,880,000	35,979,900	-	1,100,000	77,759,900	

(4)長期借入金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
平成22年度 CT整備事業	18,437,079	-	7,353,840	11,083,239	0.38%	平成23年3月25日～ 平成27年9月25日	
平成22年度 CT整備事業	18,418,759	-	7,350,943	11,067,816	0.30%	平成23年3月20日～ 平成27年9月20日	
平成22年度 医療機器整備事業	48,191,678	-	15,999,744	32,191,934	0.40%	平成23年9月20日～ 平成28年3月20日	
平成22年度 耐震整備事業	118,969,278	-	14,407,988	104,561,290	0.90%	平成23年9月20日～ 平成33年3月20日	
平成23年度 医療機器整備事業	42,463,457	-	10,568,176	31,895,281	0.30%	平成24年9月20日～ 平成29年3月20日	
平成23年度 耐震整備事業	57,673,100	-	7,540,846	50,132,254	0.60%	平成24年3月20日～ 平成32年9月20日	
平成24年度 医療機器整備事業	48,700,000	-	9,720,535	38,979,465	0.10%	平成25年9月20日～ 平成30年3月20日	
平成25年度 医療機器整備事業	-	50,000,000	-	50,000,000	0.20%	平成26年9月20日～ 平成31年3月20日	
計	352,853,351	50,000,000	72,942,072	329,911,279			

(5)引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	118,963,496	51,570,516	18,803,625	-	151,730,387	
賞与引当金	101,996,336	317,684,282	319,567,656	-	100,112,962	
貸倒引当金	7,893,944	1,174,823	-	-	9,068,767	
PCB廃棄物処理 費用引当金	1,124,000	-	-	-	1,124,000	
計	229,977,776	370,429,621	338,371,281	-	262,036,116	

(6)資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	山武市出資	1,403,259,000	-	-	1,403,259,000	
	計	1,403,259,000	-	-	1,403,259,000	
資本剰余金	資本剰余金					
	目的積立金	65,748,360	48,232,981	-	113,981,341	(注1)
	設立団体からの贈与	154,000	-	-	154,000	
	計	65,902,360	48,232,981	-	114,135,341	

(注1) 資本剰余金のうちの目的積立金の当期増加額は、目的積立金の取崩しにより取得した固定資産に係る増加額です。

(7)積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

①積立金等の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
病院施設の建替・整備又は医療機器等の購入等に充てる目的積立金	496,921,024	408,894,497	48,232,981	857,582,540	(注1)
計	496,921,024	408,894,497	48,232,981	857,582,540	

(注1) 当期減少額は医療機器等の購入により、当期増加額は平成24年度利益の処分によるものです。

②目的積立金の取崩しの明細

(単位:円)

区 分	金 額	摘要
その他 病院施設の建替・整備又は医療機器等の購入等に充てる目的積立金	48,232,981	(注1)
計	48,232,981	

(注1) 医療機器等の購入による取崩です。

(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

① 運営費負担金債務

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高	摘要
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計		
平成25年度	-	320,911,000	320,911,000	-	-	320,911,000	-	
合計	-	320,911,000	320,911,000	-	-	320,911,000	-	

② 運営費負担金収益

業務等区分	平成25年度	合計
期間進行基準	320,911,000	320,911,000
費用進行基準	-	-
合計	320,911,000	320,911,000

(9) 地方公共団体等からの財源措置の明細

① 補助金等の明細

(単位:円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
平成25年度 千葉県救急勤務医支援事業補助金(千葉県)	232,000	-	-	-	-	232,000	
平成25年度 看護師等充足対策事業補助金(千葉県)	94,000	-	-	-	-	94,000	
平成25年度 千葉県産科医等育成・確保支援事業補助金(千葉県)	120,000	-	-	-	-	120,000	
平成25年度 千葉県認定看護師養成支援事業補助金(千葉県)	806,000	-	-	-	-	806,000	
平成25年度 休日当番担当手当助成金(山武郡市医師会)	702,000	-	-	-	-	702,000	
平成25年度休日当番担当手当助成金(山武郡市医師会) (千葉県地域医療再生基金活用分)	270,000	-	-	-	-	270,000	
平成25年度 2次輪番病院医師確保等対策助成金(山武郡市広域行政組合)	14,271,000	-	-	-	-	14,271,000	
CT整備事業及び医療機器整備事業(山武市)	25,723,000	-	25,496,000	-	-	227,000	
中棟耐震補強事業(山武市)	23,321,956	-	21,948,834	-	-	1,373,122	
緩和ケア病棟改修事業(山武市)	15,487,000	-	15,487,000	-	-	-	
地方独立行政法人さんむ医療センター中期目標・中期計画策定支援業務及び診療報酬施設基準検討業務(山武市)	1,485,000	-	-	-	-	1,485,000	
地方公務員災害補償基金特別負担金 平成24年度特別交付税算入額分(山武市)	661,651	-	-	-	-	661,651	
短期人間ドック補助金(千葉県医業健康保険組合)	7,192,000	-	-	-	-	7,192,000	
インフルエンザ予防接種補助金(千葉県医業健康保険組合)	349,272	-	-	-	-	349,272	
合計	90,714,879	-	62,931,834	-	-	27,783,045	

(10) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区分	報酬又は給与		退職給与	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役員	(189)	(3)	(-)	(-)
	18,415	6	-	-
職員	(331,440)	(135)	(-)	(-)
	1,553,752	260	18,804	27
合計	(331,629)	(138)	(-)	(-)
	1,572,167	266	18,804	27

(注1) 支給額及び支給人数

非常勤職員については、外数として()内に記載しております。
また、支給人数については平均支給人数で記載しております。

(注2) 役員報酬基準及び職員給与基準の概要

役員報酬については、「地方独立行政法人 さんむ医療センター 役員報酬等規程」に基づき支給しております。

また、職員については、「地方独立行政法人 さんむ医療センター 職員給与規程」及び「地方独立行政法人 さんむ医療センター 非常勤職員給与規程」等に基づき支給しております。

(注3) 法定福利費

上記明細には法定福利費は含めておりません。

(11)開示すべきセグメント情報

当法人は単一セグメントにより事業を実施しているため、記載を省略しております。

(12) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科目	金額	
医業費用		
給与費		
給料及び手当	1,240,414,056	
賞与	197,795,344	
賞与引当金繰入額	90,025,891	
賃金及び報酬	292,803,836	
役員報酬及び役員賞与	18,074,516	
退職給付費用	47,109,636	
法定福利費	290,511,789	2,176,735,068
材料費		
薬品費	282,220,194	
診療材料費	362,386,270	
給食材料費	1,014,110	
医療消耗備品費	12,700,461	
たな卸資産減耗費	1,942,560	
たな卸資産評価損	366,837	660,630,432
減価償却費		
建物減価償却費	194,777,895	
構築物減価償却費	87,750	
器械備品減価償却費	107,097,037	
無形固定資産減価償却費	296,100	302,258,782
経費		
福利厚生費	2,461,990	
報償費	509,121	
旅費交通費	876,551	
職員被服費	585,420	
消耗品費	17,817,622	
消耗備品費	5,210,879	
光熱水費	73,284,734	
燃料費	577,680	
印刷製本費	4,929,441	
修繕費	45,426,120	
保険料	13,981,602	
賃借料	73,114,868	
通信運搬費	4,644,418	
委託料	311,183,691	
手数料	3,810	
広告料	1,191,080	
諸会費	4,501,477	
交際費	440,675	
租税公課	204,301	
費用に係る控除対象外消費税	61,393,408	
雑費	856,415	
寄附金	3,100,812	
修学費	4,185,230	
医業貸倒引当金繰入額	1,174,823	631,656,168
研究研修費		
研究材料費	36,000	
図書費	4,075,381	
旅費	2,736,562	
研修費	2,083,889	8,931,832
医業費用合計		3,780,212,282

(単位:円)

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料及び手当	95,848,190	
賞与	19,694,332	
賞与引当金繰入額	10,087,071	
賃金及び報酬	38,636,586	
役員報酬及び役員賞与	529,000	
退職給付費用	4,460,880	
法定福利費	30,222,454	199,478,513
減価償却費		
建物減価償却費	13,560,689	
器械備品減価償却費	3,610,374	17,171,063
経費		
福利厚生費	292,622	
旅費交通費	29,226	
職員被服費	211,920	
消耗品費	1,015,868	
消耗備品費	255,460	
光熱水費	4,677,695	
燃料費	14,441	
印刷製本費	11,590	
修繕費	1,867,640	
保険料	687,062	
賃借料	1,895,497	
通信運搬費	384,094	
委託料	17,205,269	
手数料	995,460	
交際費	68,810	
租税公課	12,399	
雑費	47,470	29,672,523
研究研修費		
旅費	37,734	
研修費	127,149	164,883
一般管理費合計		246,486,982

(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(現金及び預金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	備考
現金	2,734,629	
普通預金	251,789,012	
定期預金	1,300,000,000	
合計	1,554,523,641	

(医業未収金の内訳)

区分	期末残高	備考
入院未収金	411,456,741	
外来未収金	120,669,591	
その他	28,657,474	
合計	560,783,806	

(未払金の内訳)

(単位:円)

区分	期末残高	備考
給与費	70,303,239	
材料費	142,414,805	
固定資産購入費	4,794,330	
経費その他	79,091,433	
合計	296,603,807	

決算報告書

平成25年度決算報告書

【地方独立行政法人 さんむ医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決算額	差額 (決算額－当初予算額)	備考
収入				
営業収益	4,255,988,000	4,182,878,876	▲73,109,124	
医業収益	3,920,214,000	3,849,656,953	▲70,557,047	外来患者数・単価が、予算見積を下回ったことによる。
運営費負担金	307,039,000	307,039,000	-	
補助金等収益等	28,735,000	26,182,923	▲2,552,077	
営業外収益	37,599,000	42,481,767	4,882,767	
運営費負担金	13,872,000	13,872,000	-	
補助金等収益等	1,623,000	1,600,122	▲22,878	
営業外収益等	22,104,000	27,009,645	4,905,645	
臨時利益	-	-	-	
資本収入	112,922,000	112,931,834	9,834	
運営費負担金	-	-	-	
長期借入金	50,000,000	50,000,000	-	
補助金等	62,922,000	62,931,834	9,834	
その他資本収入	-	-	-	
その他の収入	-	-	-	
計	4,406,509,000	4,338,292,477	▲68,216,523	
支出				
営業費用	3,920,251,000	3,712,959,961	▲207,291,039	
医業費用	3,677,377,000	3,482,670,894	▲194,706,106	退職等に伴う給料・手当等の減少及び診療特別手当の減少による。
給与費	2,247,553,000	2,152,624,652	▲94,928,348	
材料費	758,485,000	690,444,722	▲68,040,278	
経費	657,864,000	630,223,404	▲27,640,596	
研究研修費	13,475,000	9,378,116	▲4,096,884	後発医薬品への切り替えと薬剤使用量の減少による。
一般管理費	242,874,000	230,289,067	▲12,584,933	賃借料・修繕費等の執行額が予算額より減少したことによる。
営業外費用	23,398,000	20,091,621	▲3,306,379	
臨時損失	-	600,000	600,000	
資本支出	201,677,000	200,309,552	▲1,367,448	
建設改良費	90,394,000	91,223,780	829,780	
償還金	72,923,000	72,942,072	19,072	
長期貸付金	37,940,000	35,979,900	▲1,960,100	
その他資本支出	420,000	163,800	▲256,200	
その他の支出	-	-	-	
計	4,145,326,000	3,933,961,134	▲211,364,866	
単年度資金収支(収入－支出)	261,183,000	404,331,343	143,148,343	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の相違の概要は、以下のとおりであります。

- (1) 損益計算書の営業収益及び臨時利益に計上されている資産見返物品受贈額戻入・資産見返補助金等戻入等は、決算額に含んでおりません。
- (2) 損益計算書の営業費用の医業費用、一般管理費に計上されている減価償却費は、決算額に含んでおりません。
- (3) 決算額には、医業費用一般管理費の経費に消費税及び地方消費税が、含まれております。
- (4) 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成 25 年度 事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

地方独立行政法人さんむ医療センター

目 次

「地方独立行政法人さんむ医療センターの概要」

1 現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
① 法人名	
② 所在地	
③ 役員の状況	
④ 設置・運営する病院	
⑤ 職員数	
2 さんむ医療センターの基本的な目標等・・・・・・・・	1

「全体的な状況」

1 法人の総括と課題・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 大項目ごとの特記事項・・・・・・・・	3
(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組	3
(2) 業務運営の改善及び効率化に関する取組	3

「項目別の状況」

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置・・・・・・・・	4
1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供・・・・・・・・	4
(1) 診療体制の充実と強化	4
(2) 医療機器等の計画的な整備及び更新	4
(3) 救急医療の充実	4
2 医療水準の向上・・・・・・・・	5
(1) 医療職の人材確保	5
(2) 医療職の専門性及び医療技術の向上	5
(3) 地域医療連携の推進	5
(4) クリニカルパスの向上	6
3 患者サービスの一層の向上・・・・・・・・	6
(1) 診療待ち時間の改善等	6
(2) 院内環境及び患者・来院者等の快適性の向上	7
(3) 患者・来院者の利便性向上	7
(4) 職員の接遇向上	7

4	安心で信頼できる良質な医療の提供	8
(1)	安全対策の徹底	8
(2)	信頼される医療の実施	8
(3)	法令等の遵守	
5	市の医療施策推進における役割	9
(1)	市の保健・福祉行政との連携	9
(2)	災害時における医療協力と役割	9
(3)	住民への保健医療情報の提供及び発信	9
(4)	住民との連携	10
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1	地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	10
2	効率的かつ効果的な業務運営	10
(1)	適切かつ弾力的な人員配置	10
(2)	職員の職務能力の向上	11
(3)	人事評価制度の実施	11
(4)	勤務成績を考慮した給与制度の導入	11
(5)	職員の就労環境の整備	11
(6)	業務改善に取り組む組織の醸成	11
(7)	予算執行の弾力化等	12
(8)	収入の確保と費用の節減	12
第4	予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	13
第5	短期借入金の限度額	13
第6	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	13
第7	剰余金の使途	14
第8	料金に関する事項	14
第9	その他業務運営に関する重要事項	14
1	施設整備の推進	14
2	地域医療再生交付金の活用	14

地方独立行政法人さんむ医療センター事業報告書

「地方独立行政法人さんむ医療センターの概要」

1 現況

① 法人名

地方独立行政法人さんむ医療センター

② 所在地

千葉県山武市成東 167 番地

③ 役員の状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	備考
理事長	坂本 昭雄	
理事	篠原 靖志	院長
理事	新 粂 正明	医務部長
理事	藤代 成一	医療技術部長
理事	関川 文代	看護部長
理事	初芝 正則	事務長
監事	野島 暉通	税理士

④ 設置・運営する病院

別表のとおり

⑤ 職員数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

346.7 人

(常勤職員 256 人、非常勤職員 81 人、非常勤医師 (常勤換算) 9.7 人)

2 さんむ医療センターの基本的な目標等

平成 22 年 3 月末をもって解散した組合立国保成東病院は、昭和 28 年 6 月の開院より 57 年間にわたり、山武郡市における地域医療の中核的病院として、地域全体の医療水準の向上に努めてきた。

近年の病院を取り巻く医療環境はますます厳しさを増してきている中で、地方独立行政法人化となった今後においても、公的病院としての役割を堅持しつつ、持続的かつ安定的に医療を提供することが求められている。

このため、地方独立行政法人さんむ医療センターは、救急医療や住民が求める医療サービスの提供に努めるとともに、地方独立行政法人制度の特徴を生かして、サービスの向上と経営の効率化等について積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに対し最大限に応えていくことが使命である。

(別表)

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

病院名	地方独立行政法人 さんむ医療センター
主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中核的病院 ・ 救急告示病院
所在地	千葉県山武市成東 167 番地
設立	平成 22 年 4 月 1 日
許可病床数	312 床
診療科目	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、皮膚科、小児外科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科
敷地面積	24,627.16 m ²
建物規模	北棟 地上 5 階建 建築面積 2,176.38 m ² 延面積 7,678.37 m ² 中棟 地上 3 階建 建築面積 1,339.68 m ² 延面積 2,784.96 m ² 南棟 地上 6 階建 建築面積 1,219.82 m ² 延面積 5,930.38 m ² カルテ庫棟 地上 3 階建 建築面積 79.14 m ² 延面積 237.42 m ² MRI 棟 1 階平屋建 建築面積 121.38 m ² 延面積 121.38 m ² 中央物流センター棟 地上 2 階建 建築面積 42.85 m ² 延面積 85.70 m ²

「全体的な状況」

1 法人の総括と課題

地方独立行政法人化後 4 年目（中期計画最終年度）となる平成 25 年度も、引き続き、法人運営の基盤となる理事会や管理職で構成し主要事項の検討を行う経営の質向上委員会及び病院の質向上委員会を定期的開催し、的確な運営が行えるよう努めるとともに、中期目標・中期計画及び年度計画の達成に向けて取り組みを行ってきた。

診療体制については、平成 25 年 10 月から内科医師及び眼科医師が各科 2 名ずつ減、平成 26 年 2 月には皮膚科医師が 1 名減になるなど厳しい状況となった。

また、平成 23 年 7 月から受け入れを開始している産科入院については、平成 25 年度の年間分娩数が 156 件（平成 24 年度 107 件）となった。

経営状況については、入院の収益及び外来収益の確保において、入院患者数・外来患者数ともに目標数値には届かなかったが、平成 24 年度実績との比較では、入院患者数が 0.6% の増、外来患者数は 1.1% の減となった。また、患者 1 人 1 日当たりの入院診療単価、外来診療単価については、平成 24 年度実績を上回った。一方、費用の節減においては、競争入札による委託業務の長期契約への切替えなどによる経費削減効果のほか、薬品、診療材料等について納入価格の引き下げに引き続き努めた。

これらの取り組みの結果として、約310,219千円の黒字を確保した。今後の課題としては、DPC導入による効果的な医療の実践、また、平成26年1月に開設した緩和ケア病棟及び平成24年度より開設した回復期リハビリテーション病棟を含む病床利用率の向上や施設基準引き上げ等に向けて取り組みを行うなど、収入の確保及び費用の節減について引き続き推進していく必要がある。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する取組

診療体制における診療体制の充実と強化については、平成25年4月当初は28名であった常勤医師は、8月に外科医師が1名増えたものの、10月には内科医師2名及び眼科医師2名が、平成26年2月には皮膚科医師1名が減となり、平成25年度末の常勤医師数は24名であった。

医療機器等については、外科用X線TV装置他27品目について順次購入を進め、整備・更新を行った。

救急医療の充実については、地域医療機関と連携を図り二次救急医療輪番体制を実施し、当院では、外科系198日、内科系24日を担当し、救急告示病院、地域の中核的病院としての役割を果たすことができた。

地域医療連携の推進については、平成23年12月に指定を受けた千葉県がん診療連携協力病院として、がん治療連携の運用を平成24年度より開始しており、山武郡市内等の医療機関と医療連携の体制を推進した。

また、平成26年1月より緩和ケア病棟入院料の施設基準届出を行い、がん患者の受け入れを強化している。

患者サービスの一層の向上については、院内広報誌を毎月1回発行し、その中で新任医師の紹介や、医師や医療技術職員による医療情報や糖尿病教室、医師による市民講座などの情報も掲載し、院内フロアをはじめ近隣市町の窓口を通し配布した。また、患者及び住民に対し、病院ホームページにより医療情報等について発信し、分かりやすくかつ新しい情報を迅速に提供するための積極的な取り組みを引き続き行った。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する取組

理事会や管理職で構成する質の向上委員会を定期的を開催し、法人の運営が的確に行えるよう努めた。

平成24年度から本格導入した人事評価制度については、平成25年度から給与への反映を開始した。

収入の確保対策としては、平成24年度開設した回復期リハビリテーション病棟の利用を一層増進する他、緩和ケア病棟を平成26年1月に開設し、治療が困難となったがん患者様へ対して緩和ケアを提供することにより病床利用率の向上を図った。

費用の節減対策としては、診療材料の品目の見直し、切替えを行うなど安価購入に努めた。また、DPC導入に併せ効率的な後発医薬品の採用促進等を図った。

「項目別の状況」

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域の特性に配慮した医療の確立と提供

(1) 診療体制の充実と強化

医師数においては、平成25年4月は常勤医師数28名（うち内科医6名）でスタートし、8月に外科医1名増員したが、9月末に内科医2名、眼科医2名が減員し、また、2月末に皮膚科医1名が減員となり、平成25年度末の常勤医師数は、24名（うち内科医4名）となった。

(2) 医療機器等の計画的な整備及び更新

医療機器等の整備及び更新を積極的に実施し、必要に応じた新規の購入を進めた。

医療機器等の整備及び更新を実施するため施設整備委員会を年2回開催し、機種選定を行い順次購入を進めた。（外科用X線TV装置他27品目）

(3) 救急医療の充実

○ 地域医療機関との連携

- 山武郡市医師会と連携し、休日当番体制（日曜・祝祭日9時～17時、2次内科系・外科系当番日）において救急医療を行った。

実績日数 内科系15日・外科系39日

- 6病院で構成される二次救急医療輪番体制（当番日17時30分から翌朝8時30分）において救急医療を行った。

実績日数 内科系24日・外科系198日

○ 消防との連携

- 山武郡市広域行政組合消防本部より病院研修の受け入れ状況

救急救命士の生涯学習（平成26年1月14日～3月25日） 32名

- 空床状況の把握

千葉県救急医療情報システムへの応需・空床情報を毎日2回ずつ報告した。

- 救急告示病院の認定を受けており、救急患者の受け入れのため、専用病床を8床確保した。

救急車受入件数 1,330件（前年度1,369件）（診療時間内467件、時間外863件）

救急車以外における診療時間外の救急患者受入件数 1,728件

2 医療水準の向上

(1) 医療職の人材確保

ア 医師の人材確保

- ・ ホームページや求人サイト等で医師の公募を行っている。また、将来的な医師確保対策として、医学生奨学金制度を新たに設けた。
- ・ 手術手当の創設、通勤手当（高速道路利用料金相当額）の加算、宿日直診療手当の増額等を行った。

イ 看護師及び医療技術職員の人材確保

- ・ ホームページや求人サイトで、看護師及び医療技術職の公募を行う他、教育実習等の受け入れや職場体験、関連教育機関等と連携を強化し、看護師及び医療技術職員の確保に努めた。
- ・ 看護部においては、看護学生を城西国際大学から基礎看護実習Ⅰ・Ⅱ合わせ31名、淑徳大学から4名、東京衛生専門学校から5名の在宅看護実習を受け入れ、教育指導に当たった。
- ・ 職場体験として、近隣小学校から6名、中学校から8名、インターンシップ実習として高校生11名を受け入れた。また、千葉県看護協会のふれあい看護体験では、高校生4名、再就職支援者1名を受け入れた。さらに、県内の教育機関等を訪問し、病院概要・奨学金について説明、就職説明会等に参加し人材確保に努め、平成25年度中に入職者は7名（うち1名はがん性疼痛認定看護師）となった。看護師数については、平成25年度末で135名となり、離職率は7.3%であった。また、平成25年度は、職員が働き続けられる職場環境づくりのために、看護協会主催のW.L.B. ショップ事業にも参加し、看護師の定着に向けている。
- ・ 奨学金制度については、看護学生16名に対し、平成26年度からの貸与を決定した。
- ・ 看護学生奨学金貸付者に対し、市と共催し平成25年9月に懇談会を開催した。（対象者33名中、出席者20名）
- ・ 医療技術職員については、4月に作業療法士を1名、7月に理学療法士を1名、8月には臨床検査技師を1名採用した。
- ・ 薬学実習生を城西国際大学から2名、リハビリ実習生を千葉県立保健医療大学から1名受け入れた。また、リハビリ技師については、将来的な確保対策として、学生対象の奨学金制度を新たに設けた。

(2) 医療職の専門性及び医療技術の向上

ア 看護部や事務部等、部門ごとに研修計画を策定し実施している。

イ 専門分野での資格取得を促進するため、認定看護師履修にかかる費用等についての奨学金制度を活用し、手術室認定看護師資格を取得した。

(3) 地域医療連携の推進

ア 紹介率については、平成25年度目標値を上回ることができ、平成25年度は各科別に紹介率を出すことができた。

- ・他医療機関へ紹介の際は、診療予約、受診案内の問い合わせ、情報提供し、患者が他医療機関へスムーズに受診できるように対応している。
- ・平成23年12月に千葉県がん診療連携協力病院に指定され、山武郡市内の医療機関に医療連携について案内をした。(認定：平成23年12月、運用開始：平成24年4月)

イ 山武地区在宅緩和ケアネットワークに協力機関として参加し、近隣の診療所、訪問看護ステーション、薬局、ケアマネージャー等と積極的に連携し、緩和ケア外来の患者を24時間体制で支援した。
(運用開始：平成22年5月)

区 分	平成24年度(実績)	平成25年度(目標)	平成25年度(実績)
紹介患者率	39.7%	38.8%	44.8%

区 分	平成25年度(実績)
訪問診療	91件
訪問看護	695件 (2,429回)
在宅看取り	32件

<高度医療機器利用件数> (他院からの共同利用依頼分)

CT：77件 MRI：10件

(4) クリニカルパスの向上

- 医療の標準化を図り、より効果的な医療の実践を行うため、クリニカルパス委員会において妥当性を検討しクリニカルパスの作成を行い、これを用いた医療の実践を行っている。また、バリエーションの分析を行い改善に取り組んでいる。(平成25年度クリニカルパス実施件数3,477件)
- 千葉県緩和ケア地域連携研究会による「地域連携クリティカルパス(在宅緩和ケア)」について、専門医療機関、訪問診療担当施設、訪問看護担当施設として登録を行い、運用を行っている。パスを活用し在宅緩和ケア患者のバックベッド対応を行った。

3 患者サービスの一層の向上

(1) 診療待ち時間の改善等

- 平成26年3月に行った外来患者満足度アンケートにおいて、待ち時間に関する質問事項を設け、現況を把握した。受付から診療までは「やや長い

32.9%」(前年度 39.4%)、診療から会計精算までは「普通 69.4%」(前年度 51.5%)、病院に入ってから出るまでは「普通 56.5%」(前年度 43.6%)の結果であった。このアンケート結果をホームページに掲示し、可能な限り待ち時間の減少に配慮するよう対応した。また、感覚的待ち時間解消のために、外来窓口に診察の進行状況等を表示した。

- 患者の導線をスムーズにするため、案内表示及び案内図を変更した。
- 各種検査（C T・MR I 検査）を早朝や時間外も行い、稼働率の向上と待ち時間の短縮を図った。
- P A C S 導入によるフィルムレス環境の整備で、診療用モニターを各外来等に設置し、X線検査の所要時間を短縮した。

(2) 院内環境及び患者・来院者等の快適性の向上

- 北棟4階フロアを改修し、緩和ケア病棟を開設した。
- 外来フロアに相談コーナーを設置した。
- トイレ改修を順次行っている。
- 院内案内看板、案内図をイラストにて作成し、掲示・配布をしている。
- 広報編集委員会においては、院内掲示物に掲示期限を設ける等し、整理等を積極的に行った。
- 病院廻りの草花の手入れ、草取り等を職員で行った。
- 入院する患者等の荷物運搬用にキャリーカーを受付に2台設置した。
- 窓口や会計にて、杖を置くための器具を院内10箇所に設置した。
- 北棟救急患者入口脇にA T Mを設置した。
- 平成25年5月から、患者様の安全性・衛生面・業務改善を目的に蓋付の湯のみを病院が準備し、配茶を開始した。
- 平成25年9月から、院内感染防止・衛生管理の徹底・サービスの向上・ご家族の負担を軽減するため、手ぶらで入院を目標に入院セットを導入した。

(3) 患者・来院者の利便性向上

ア 玄関や受付での案内業務の充実

- ・ 週4名程度のボランティアで、院内の案内、車椅子の介助等を行った。
- ・ 案内が手薄となる就業前の時間帯に、総合受付で案内業務を実施した。
- ・ 総合受付周りの案内表示を増やした。
- ・ 山武市基幹バス・乗合タクシーの案内を、正面玄関の見やすい場所に掲示した。また、当院最寄りのバス停時刻表を独自に作成し、院内に掲示している。
- ・ 入院、外来の料金支払いについて、患者の利便性を考慮して、クレジットカードによる支払いを実施している。

イ 院外の案内板の設置に努める。

・平成25年度末設置済状況

国道126号線沿1か所、駅看板（土気駅）1か所

（4）職員の接遇向上

病院職員としての接遇の基本姿勢とノウハウを身につけ、患者や家族に対するマナーや心のサービス向上を図るため、接遇研修の実施や委託業者も含めた全職員を対象に配布した接遇マニュアルにより、接遇向上に努めている。

○ 接遇研修

・平成25年4月「新人オリエンテーション」

・平成25年7月「クレーム対応～コミュニケーションスキルの向上～」

4 安心できる良質な医療の提供

（1）安全対策の徹底

○ インシデントレポートが全体に定着し、報告の事例が他部署の連携や協働の重要性を認識できるようになった。チーム医療を推進するうえで高く評価できる。

○ 医療安全管理委員会は、月1回開催し、事例の分析や対策の検討、職員の安全教育の企画運営にあたった。他職種との意見交換は連携の要になっている。

○ トピックスの発行を行い、事例による全体への注意喚起を促すために発信した。

○ 平成25年度の医療安全研修会は、「危険予知トレーニング」、「クレーム対応」、「職種間コミュニケーション」、「患者家族とのコミュニケーション」、「5S発表会議」を、全職員対象5回、看護職対象7回実施した。

○ 医薬品の安全管理のために、手順書を定期的に見直し（次回改訂予定平成26年4月）、職員研修を実施した。

○ 医薬品情報については、医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディアナビ）によりタイムリーに情報を収集し提供した。

○ 薬剤師は入院患者の状況に応じて、分かりやすく適切な内容で薬剤管理指導を実施し、アドヒアランスの向上に努めた。また、持参薬確認や配薬カーターの薬剤チェック実施し医療の安全に努めた。

○ 院内感染防止対策の強化を図るため、連携する病院と年4回のカンファレンスを行い、情報交換等に努めた。また、院内全体研修会を年4回実施し、感染予防に努めた。

（2）信頼される医療の実施

○ 厚生労働省の指導により、医療の透明化や患者への情報提供を積極的に推していく観点から、平成23年2月より領収証の発行の際に個別の算定

項目の分かる明細書を無償で発行している。

- インフォームド・コンセントの徹底については、患者と家族から、信頼され納得に基づいた医療を行うために、患者や家族が理解しやすいように絵や図などを用いて丁寧に説明するように努めた。また、手術や処置などで、治療成績だけでなく、頻度は少ないが起こりうる可能性のある合併症の説明も行い、治療法や処置における患者の自己決定権を尊重し、書面での承諾書の作成を徹底した。
- セカンドオピニオンについては、地域医療連携室を受付窓口とし、ホームページ等で案内を行っている。
- 患者サポート体制の充実を図るため、相談支援窓口（地域医療連携室内）により、患者等からの疾病に関する医学的な質問並びに入院上の不安等に関する相談受け入れ体制を整えた。
- さんむ医療センター「緩和フォローアップ研修会」を近隣の医療従事者対象に平成26年3月22日（土）に開催した。

（3）法令等の遵守

- 保健所の立入検査により、医療法等関係法令に基づいて、適正に病院運営が行われていることが確認された。また、諸規程については、各部署で職員が閲覧できる体制を整え、周知を図っている。
- 平成25年度のカルテ開示件数は12件であった。患者及びその家族からのカルテ開示請求に対しては、山武市個人情報保護条例及び山武市情報公開条例に基づき適切に対応し、山武市に開示内容を報告した。

5 市の医療施策推進における役割

（1）市の保健・福祉行政との連携

- 県内・外の市町村のがん検診、妊婦乳児一般健康診査、乳幼児精密健康診査、児童結核検診等の事業を委託契約し実施した。また、山武市の乳児健診については、月1回施設の一部を提供し小児科外来と連携して行い、希望者にはBCGの予防接種も同時に行った。
- 千葉県内定期予防接種相互乗り入れに加入し、市町村の定期予防接種の業務委託契約を行い実施した。また、大人、小児のインフルエンザ予防接種については、地域医療連携室に予約受付窓口を設置し集団接種で行った。
- 平成25年度はケアマネージャーを1名配置し、要介護度認定を受けた利用者に対してケアプラン作成を行うとともに、介護サービスの内容等の相談に当たった。

平成25年度の年間利用者数延べ人数は452人（予防委託延べ39人分含む）であった。苦情処理、事故対応については、該当ケースの発生はなかった。

(2) 災害時における医療協力と役割

- 千葉県防災キャンプ（生活体験学校）に看護師を派遣するなど、地域の活動に協力した。

(3) 住民への保健医療情報の提供及び発信

- 医療情報等の提供
 - ・ 平成22年度に全面リニューアルした病院ホームページについて、平成25年度においても内容を更に充実させるなど、より分かりやすくかつ迅速に情報発信を行った。
 - ・ 院内広報誌を毎月発行し、院内の各種イベントや外来診療表、お知らせ（医師休診等）などを掲載し、院内各フロアや近隣市町の窓口に設置している。また、平成25年6月発行分より見やすくするためにフォーマットの変更を行った。
 - ・ 診療体制等に関する情報を近隣市町が発行する広報誌に掲載した。
- 市民を対象とする公開講座等の開催及び講師派遣
 - ・ 毎月第3水曜日に「糖尿病教室」を定期的で開催した。
 - ・ 栄養士が講師となり2月に1度「レンジで簡単調理教室」を定期的で開催した。
 - ・ 平成25年5月「基礎からわかる脳卒中」（市主催）へ脳外科医師を講師として派遣した。
 - ・ 平成25年11月「糖尿病と整形外科の合併症」を開催した。
 - ・ 平成26年3月「在宅緩和ケア講演会」を開催した。
 - ・ 平成26年3月「九十九里緩和医療セミナー」を開催した。
 - ・ 平成25年9月さんぶ地域訪問介護事業所連絡会が主催する研修会へ管理栄養士を講師として派遣した。

(4) 住民との連携

- 病院ボランティアでは、院内の案内、車椅子介助、病院敷地内清掃、正面玄関付近の花壇管理、ミニコンサート、ピアノ演奏、アロマテラピーハンドトリートメント（毎週火曜日）等の活動を行った。
- がん治療中の患者と家族の抱えている悩みの相談の場として、ピア・サポート（ボランティア）を北棟2階指導相談室で平成23年4月より開始して以来、平成25年度も引き続き（毎週水曜日午後）実施した。
- 毎年開催しているクリスマスコンサートでは、入院患者搬送ボランティアを募集し、多数の応募をいただき活動した。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立

理事会において重要事項についての意思決定を行うとともに、管理職で構成し病院運営等にかかる主要事項の検討を行う経営の質向上委員会及び病院の

質向上委員会を通じて、法人の意思統一を図るとともに、中期目標、中期計画及び年度計画の達成に向けて取り組みを行った。

- <開催実績> ○理事会 14回（うち臨時理事会2回）
○経営の質向上委員会 12回
○病院の質向上委員会 12回

2 効率的かつ効果的な人員配置

(1) 適切かつ弾力的な人員配置

再雇用制度を活用し、看護師等の効率的な人員配置を図った。

（平成25年度制度該当者：看護師3名、准看護師3名、看護助手2名）

また、経営状況を職員が共有するため、毎月、診療実績・患者数のデータ等を経営の質向上委員会資料と併せて配布している。

(2) 職員の職務能力の向上

ア 医療職の職務能力向上については、部門ごとの研修や外部研修に参加し、スキルアップを図った。

イ 事務職の職務能力向上については、院内研修会の実施や外部研修会への参加により、意識改善を図った。

ウ 全職員を対象とした、平成26年度診療報酬改定についての説明会を2回行った。

(3) 人事評価制度の実施

平成24年度から本格導入した人事評価制度については、評価者対象の研修会をロールプレイング方式で実施するなど、精度向上と定着に努めた。

(4) 勤務成績を考慮した給与制度の導入

平成24年度の人事評価結果を受け、平成25年度から給与制度への反映を開始した。 ※平成25年度の定期昇給・賞与に反映。

(5) 職員の就労環境の整備

ア 日常業務の過度の負担を解消するため、時間外勤務実績の分析を行い、人員配置の見直しを図るとともに、週休日・休日の勤務については、原則、振替により休暇を取得するよう推進した。

イ 出産後の子育てに対する負担を軽減するため、各種休暇制度の取得を促進した。 ※育児休業取得者9名（看護師6名、理学療法士1名、作業療法士2名）

また、院内での病後児保育の受け入れ体制を整え、実施している。

ウ 職員の不安や悩みなどのほか、患者からの過度の苦情に対する相談体制の整備について、担当者を配置し対応した。

- エ 再雇用制度を活用し、就労環境の整備を図った。
- オ 医師事務作業補助の体制を導入し、診断書等書類の作成に関する医師の負担軽減に努めた。

(6) 業務改善に取り組む組織の醸成

各部署から管理職以上の職員がメンバーとなり、病院の質向上委員会を組織し、毎月1回定期的に院内の業務改善等について協議、検討を行っている。

(7) 予算執行の弾力化等

弾力的に執行できる会計制度を活用し、費用の削減の為、長期契約等を積極的に導入するなど、より有利な契約内容となるよう取り組みを図った。

(8) 収入の確保と費用の節減

○ 収入の確保

- ・ 平成24年2月より開始した回復期リハビリテーション病棟は、平成25年4月1日より病床数を4床増床した。また、平成25年9月1日より回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準を3から2に格上げし、患者数の増加と収益の増収を図った。
- ・ 北棟4階の病棟を改修し、平成26年1月より緩和ケア病棟を開設し、収益の増収を図った。
- ・ 平成25年4月より一般名処方による処方箋の発行を開始し、一般名処方加算を算定し収益の増収を図った。
- ・ 平成25年7月より医師事務作業補助体制加算(100対1)の施設基準届出を行い、収益の増収を図った。
- ・ 医療費の未収金台帳作成・管理、電話督促、督促状の発送及び毎月1回、職員による個別訪問徴収を行い、未収金回収に努めた。

また、限度額適用認定証の取得や、高額貸付制度、出産育児一時金直接支払制度の利用などを積極的に働きかけ、未収金の発生防止に努めた。

< 高度医療機器の稼働率(件数) >

区 分	平成24年度実績	平成25年度実績
C T	8, 502件	8, 880件
M R I	4, 626件	4, 614件

○ 費用の節減

- ・ 後発医薬品の切替えについては、薬事委員会が中心となり積極的に切替えを行い費用の削減に努めた。
- ・ 診療材料については、より廉価な同種同等品への切替えについて検討・推進することにより費用の削減に努めた。

- ・ 看護部関連診療材料については、看護部が中心となり積極的に切替えを進めた。
- ・ 診療材料の購入価格について、価格の見直しに努め、新規採用材料等については医師の協力のもと価格交渉を行った。

<収支全般>

区 分	平成24年度実績	平成25年度目標数値	平成25年度実績
医業収支比率	92.2%	92.1%	95.4%
人件費比率	62.0%	63.2%	61.9%

※医業収支比率 (%) = 医業収益 ÷ (医業費用 + 一般管理費) × 100

<入院収益及び外来収益の確保>

区 分	平成24年度実績	平成25年度目標数値	平成25年度実績
入院患者数	63,461人 (1日当たり174人)	64,248人 (1日当たり176人)	63,892人 (1日当たり175人)
外来患者数	134,228人 (1日当たり548人)	134,854人 (1日当たり553人)	132,817人 (1日当たり544人)

<診療単価>

区 分	平成24年度実績	平成25年度実績
入院診療単価	40,307円	40,662円
外来診療単価	7,207円	7,325円

<費用の節減>

区 分	平成24年度実績	平成25年度目標数値	平成25年度実績
後発医薬品の適用率	18%	20%	20.6%

第4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

- 1 予算 別表1のとおり
- 2 収支計画 別表2のとおり
- 3 資金計画 別表3のとおり

第5 短期借入金の限度額

平成25年度は、年度計画で想定された短期借入金を要する資金不足の状況は発生せず、事業資金は、長期借入金を除き自己資金で賄った。

第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

該当なし

第7 剰余金の使途

平成25年度は剰余を生じたので、平成26年度以降、病院施設の建替・整備又は医療機器の購入等に充てる予定である。

第8 料金に関する事項

使用料および手数料に関する規程に基づき徴収した。

第9 その他業務運営に関する重要事項

1 施設整備の推進

緩和ケア病棟について、平成25年度に改修工事を行い平成26年1月に開設した。

2 地域医療再生交付金の活用

平成24年度に引き続き、病院群輪番制二次救急病院の医師確保経費として地域医療再生交付金より14,271千円が助成された。また、認定看護師養成支援事業補助金として806千円が助成された。

別表 1

1 予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差額 (決算額-予算額)
収入			
営業収益	4,255,988	4,182,879	△ 73,109
医業収益	3,920,214	3,849,657	△ 70,557
運営費負担金収益	307,039	307,039	-
補助金等収益	28,735	26,183	△ 2,552
営業外収益	37,599	42,482	4,883
運営費負担金収益	13,872	13,872	-
補助金等収益	1,623	1,600	△ 23
受取利息	50	2,735	2,685
その他営業外収益	22,054	24,275	2,221
資本収入	112,922	112,932	10
長期借入金	50,000	50,000	-
運営費負担金	-	-	-
補助金等	62,922	62,932	10
計	4,406,509	4,338,292	△ 68,217
支出			
営業費用	3,920,251	3,712,960	△ 207,291
医業費用	3,677,377	3,482,671	△ 194,706
給与費	2,247,553	2,152,625	△ 94,928
材料費	758,485	690,445	△ 68,040
経費	657,864	630,223	△ 27,641
研究研修費	13,475	9,378	△ 4,097
一般管理費	242,874	230,289	△ 12,585
営業外費用	23,398	20,092	△ 3,306
臨時損失	-	600	600
資本支出	201,677	200,310	△ 1,367
建設改良費	90,394	91,224	830
償還金	72,923	72,942	19
その他資本支出	38,360	36,144	△ 2,216
計	4,145,326	3,933,961	△ 211,365

※各項目の数値は端数を四捨五入しており、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。

別表 2

2 収支計画

(単位：千円)

区 分	計 画 額	決 算 額	差額 (決算額-予算額)
収入の部	4,442,534	4,364,872	△ 77,662
営業収益	4,404,935	4,322,825	△ 82,110
医業収益	3,920,214	3,840,401	△ 79,813
運営費負担金収益	307,039	307,039	-
補助金等収益	28,735	26,183	△ 2,552
資産見返補助金等戻入	117,384	117,639	255
資産見返物品受贈額戻入	31,563	31,563	0
営業外収益	37,599	41,543	3,944
運営費負担金収益	13,872	13,872	-
補助金等収益	1,623	1,600	△ 23
受取利息	50	2,735	2,685
その他営業外収益	22,054	23,336	1,282
臨時利益	-	505	505
支出の部	4,291,385	4,054,654	△ 236,731
営業費用	4,254,796	4,026,699	△ 228,097
医業費用	3,993,628	3,780,212	△ 213,416
給与費	2,281,466	2,176,735	△ 104,731
材料費	763,485	660,630	△ 102,855
経費	629,253	631,656	2,403
減価償却費	305,949	302,259	△ 3,690
研究研修費	13,475	8,932	△ 4,543
一般管理費	261,168	246,487	△ 14,681
営業外費用	31,589	26,915	△ 4,674
臨時損失	5,000	1,040	△ 3,960
純利益	151,149	310,219	159,070
総利益	151,149	310,219	159,070

※各項目の数値は端数を四捨五入しており、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。

別表 3

3 資金計画

(単位：千円)

区 分	計 画 額	決 算 額	差額 (決算額-予算額)
資金収入	5,526,509	5,490,979	△ 35,530
業務活動による収入	4,293,587	4,231,491	△ 62,096
診療業務による収入	3,920,214	3,851,116	△ 69,098
運営費負担金による収入	320,911	320,911	-
補助金等収入	30,358	28,803	△ 1,555
その他の業務活動による収入	22,054	27,915	5,861
利息の受取額	50	2,746	2,696
投資活動による収入	62,922	62,932	10
運営費負担金による収入	-	-	-
補助金等収入	62,922	62,932	10
その他の投資活動による収入	-	-	-
財務活動による収入	50,000	50,000	-
長期借入れによる収入	50,000	50,000	-
その他の財務活動による収入	-	-	-
前年度からの繰越金	1,120,000	1,146,556	26,556
資金支出	5,526,509	5,490,978	△ 35,531
業務活動による支出	3,943,649	3,708,130	△ 235,519
給与費支出	2,439,963	2,348,960	△ 91,003
材料費支出	758,485	670,338	△ 88,147
その他の業務活動による支出	745,201	688,832	△ 56,369
投資活動による支出	128,754	122,573	△ 6,181
有形固定資産の取得による支出	90,394	83,035	△ 7,359
無形固定資産の取得による支出	-	3,395	3,395
その他の投資活動による支出	38,360	36,144	△ 2,216
財務活動による支出	72,923	105,751	32,828
長期借入金の返済による支出	72,923	72,942	19
移行前地方債償還債務の償還による支出	-	-	-
その他の財務活動による支出	-	32,809	32,809
次年度への繰越金	1,381,183	1,554,524	173,341

※各項目の数値は端数を四捨五入しており、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。